

04 春闘推進ニュース



全労連ニュース速報 NO.770

2004/04/22

全国労働組合総連合
TEL:03-5842-5611
FAX:03-5842-5620

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

23 日厚生労働委員会開催 与党は月内採決・衆議院通過を画策 徹底審議を求める行動に全力を！

22 日、衆議院厚生労働委員会は参考人質疑をおこないました。依然、自公与党は月内の衆議院通過をねらっています。23 日、28 日が定例の厚生労働委員会の審議日ですが、このいずれかの日程で、与党が数にものをいわせたゴリオン採決の危険性があり、30 日に本会議を開き衆議院を通過させる構えです。野党は審議が始まったばかりで、政府案などさまざまな矛盾が明らかになっているなか、十分な審議が尽くされない現状での採決は許されないとしています。「審議を尽くし、年金改悪法案は廃案に」の国民の声を国会に届けることが重要な局面となっています。国会行動への最大限の動員、地域・職場からの要請、宣伝行動、署名の集中に全力を尽くすよう要請します。

明日の国会行動予定 国会傍聴、国会前座り込み

4 / 23

- 9 : 30 厚生労働委員会傍聴行動
傍聴される方は衆議院議面に
9 : 30、13 : 30 に集合してください
- 12 : 00 ~ 15 : 00 衆議院第 2 議員会館前座り込み

年金改悪法案を廃案にせよ ! 自衛隊の撤退を、許すな有事法案!

4.21 集会2500人参加~昼休み国会請願デモ・国会前座り

込み・傍聴行動・議員要請~~~~終日行動展開

イラク情勢が悪化し、与党が、衆議院での「年金改悪法案」の採決をねらう緊迫する情勢を迎え、全労連・国民大運動実行委員会・中央社保協・有事法制は許さない連絡センターなどが共同で国会周辺での終日行動を展開しました。

21 日は、日比谷野外音楽堂から、労働者、民主団体が国会まで年金改悪反対、イラクからの自衛隊の即時撤退を訴え 1500 人がデモ行進を展開。国会前では、連合が 2300 人の組合員を動員し座り込みを執行しており、国家周辺は年金改悪反対の怒りの渦に包まれました。昼デモ終了後、愛知、大阪、自治労連、民医連、保団連が議員要請行動を展開。連合の座り込み終了後全労連が 800 人で座り込み行動を行い、夜は日比谷野音集会の参加者による国会請願デモ行進がとりくまれ、終

日、国会周辺が騒然とした状況に包まれました。

保険料の引き上げは、年金制度の崩壊を招く

厚生労働委員会の審議

政府案の問題点次々

21日厚生労働委員会で年金改革関連法案の質疑が、22日参考人の意見陳述と参考人に対する質疑がおこなわれました。

■保険料未納額 5兆4千億円

21日厚生労働委員会では、民主党が年金保険料に群がる業者と厚生労働省官僚の収賄疑惑を追及。調査を約束しながら、いまだ、調査結果を発表しない坂口厚生労働大臣を厳しく追及しました。

また、日本共産党山口富男議員は、「保険料の未納額が平成4年から12年まで5兆4千億円であり、未納者の所得状況は、月収20万円以下の人が5割を占めている。この制度の根幹を揺るがす問題の対処として、現在厚生労働省がおこなっている対応は、保険料の強制徴集だ。手始めに強制徴集がおこなわれたのが沖縄だが、沖縄は全国一保険料納付率が低い。懲罰的な強制徴集では問題は解決しない」と厚生労働省を批判するとともに、政府案の保険料の引き上げでは、ますます、保険料未納者を増大させるだけと、同法案の問題を指摘しました。

■大量の無年金者が生まれる危惧

衆院厚生労働委員会は22日、年金制度改革に関する政府案と民主党案の審議のため、参考人質疑を行いました。

同日午前の質疑では、山崎泰彦神奈川県立保健福祉大教授が「年金改革は先送りできない。保険料引き上げと給付の適正化を図りつつ、何とか安定軌道に乗せてもらいたい」と政府案の早期成立の必要性を強調。米沢康博横浜国立大教授は、年金積立金の運用について、「今後のマクロ経済から見て、予定利率は妥当な水準」と述べ、安定的な運用が行われるとの見通しを示した。

一方、高山憲之一橋大経済研究所教授は、「政府案の通り保険料の引き上げを行うと、企業のリストラや年金空洞化などが進み、結果として景気の低迷を招くと指摘。政府案は600兆円の債務超過をどうするかだけに着目した案であり、将来的な安心を確約したものではない。保険料固定方式で、給付も固定するのは至難の業だ。更なる保険料の引き上げもありうる。年金への税金投入をどうするのか議論する必要がある」と政府案を批判しました。

公文昭夫年金実務センター代表も、基礎年金の国庫負担引き上げについて、財源が明示されていないことを挙げ、「事実上の先送り」と政府案を批判。また、国民年金2237万人のうち免除・滞納・未加入者が1160万になる実態を紹介。社会保険庁の調査でも、保険料が高くて払えないと答えている人が71.4%、厚生年金も新規法人の2割が未加入、国民年金への移行に歯止めがかからないという朝日新聞の記事を紹介しつつ、「このままでは、大量の無年金者が生まれる」と政府案の保険料引き上げを批判。5年毎の審議をなくして、保険料引き上げ・給付の削減をおこなう仕組みは「民主主義の形骸化だ」とし、積立金も2100年になっても136.7兆円が残る計算となっていることを指摘、「ドイツ・フランスは給付の1か月分しか積立金を持たず、それが国際的にはあたりまえ。積立金を民主的に運用させるために、国民の代表をいれた運用組織を作らなければならない」と提案しました。また、「労働組合、政党が最低保障年金制度を提案し、多くの国民の声となっているにもかかわらず、無視されているのは問題」と政府の姿勢を批判しました。

22 日国会前座り込みに 310 人

16 万 5 千筆の署名を提出

衆議院での年金改悪法案の参考人質疑がおこなわれた 22 日、全労連、国民大運動、中央社保協など 310 人が国会前に座り込みました。座り込み参加者が積み上げた国会請願署名は 16 万 5 千筆になりました。

● 主催者挨拶 中央社保協 山田稔事務局長

昨日は、昼の請願デモ、座り込み、夜の集会と請願デモ、そして本日も座り込みと我々は頑張っている。3 日間の行動の中日、ご苦労様です。今朝の与野党理事懇談会で、自民党は「明日の定例日、6 時間審議の後、採決を」と持ち出してきた。与党は「審議時間も 30 時間に近づいてきた。もう十分」という。しかし、この審議を通じ、国民に明らかになったのは、保険料引き上げと給付引き下げ、その先には消費税導入という内容。廃案にすべき法案であることがますます明らかになっている。徹底審議と廃案の声を全国からあげよう。

イラク人質事件をめぐって自己責任論が喧しい。あるマスコミは「日本は国民の上に国があり、国民を押しつぶしている」と言っている。人権より国家を優先し、国はアメリカに追随。平和問題も年金問題も、国民軽視の根は同じだ。

● 国会情勢報告・激励連帯 日本共産党 吉井秀勝衆院議員

「イラク派兵やめよ、年金改悪するな」の声で大きな流れをおこし、世論をもって政府・与党の間違いを正していこう。年金改悪法案は、明日強行採択という危険な状況にある。道路公団問題では 80~100 時間という審議時間を費やしているのに、それに比べ年金は審議時間が短く、まだ、始まったばかり。参考人質疑で出された意見を参考にし、さらに公聴会を開いていくべきなのに、与党はあらゆる国会の手続き・流れを無視して強行しようとしている。なぜか。審議するほど、法案の中身のひどさが明らかになり、国民の間に反対が広がるからだ。政府案は、連続して自動的に保険料を上げ、給付を下げるのが狙い。民主案も弱いものイジメの消費税増税案。いずれも、徹底審議で世論の信を問えば、廃案となる。皆さんと力をあわせて、年金改悪を阻止する決意である。

有事法制関連法案について、4 つの公的類型が言われているがいずれも首をかしげたるものばかりだ。(1) 空襲の際の避難誘導など、実際には無理。(2) 地上戦での避難誘導については、沖縄戦での教訓からして、軍隊は国民を保護しないことがわかっている。(3) ミサイル攻撃の際の誘導については「うろろう逃げたら危ないから家にこもれ」と指示するだけという。結局、アメリカと共同し、アメリカ軍への攻撃を日本への侵犯行為とみなし、戦闘に参加できるようにする、というのが本当の狙い。イラク問題への政府の対応をみると、人質になった青年をいじめ倒している。国民いじめでモノを言えない状況に国民を追い込んでいこうとしている。戦前の雰囲気になてている。過去の教訓に学ぶべきだ。ファルージャで米軍は包囲殲滅作戦を行なっている。子どもや女性、年寄りも虐殺し、宗教施設も攻撃している。国際法違反だ。アメリカはベトナム戦争でも病院を爆撃した。日本の ODA で建てた病院も壊された。その跡を、自民党議員とともに確認したこともある。戦争の現実の姿を直視しなければならない。

スペインは派兵 1400 人の 1/6 を帰還させた。ドイツ、ニュージーランド、ホンジュラス……。もともと軍隊を派遣した国は少ないが、それらの国が続々と撤退を検討している。根底には、米上院軍事委員会公聴会におけるデビッド・ケイ氏の証言で明らかとなったように、イラクには米大量破壊兵器はなく、戦争の大義はない、ということが判明したことがある。イラク戦争はまったくの

間違いだという主張は我々が1年前から主張してきたことだ。我々の力で、イラクからの自衛隊撤退、年金改悪阻止もできることに確信をもとう。

● 年金実務センター 公文照夫氏

9時20分から12時まで、午前の参考人質疑があり、皆さんの代表のつもりで臨んだ。時間はたった10分なので、とにかく、政府案は検討に値しないシロモノだ、と主張した。5年に1度の財政再計算も放棄し、財政状況を報告するだけで年金法案をきちんと審議しないという。100年の安心どころか、100年間、我々の年金が大企業のために勝手気ままに使われる。こんなことやったら、おしまいだ。自民推薦の大学教授は、自民案、民主案とでは隔たりはない、与野党一致で通すべき、と言った。世論誘導を狙った感じだった。民主党推薦の高山憲之氏は、強行採決はなんとしても避けよといい、さらに100年前に、今の社会を予想できましたか、と皮肉を言っていた。

● 参加者の決意表明

年金者組合 小林副委員長

政府改悪法案も民主案も、承服できない。最悪だ。傍聴していても納得のできる審議はされていない。怒りをもって行動に立ち上がっている。昨日は首都圏から300人。明日もくる。全国全県が行動おこし、一人一人が個人請願を、知事・厚生労働省大臣に持っていく。座り込み、年金大行進、市場前署名、夜の座り込みなど700あまりの支部がそれぞれ創意をこらして、一人一人が奮闘している。国民年金や無年金者にもよびかける。世論で改悪阻止する決意だ。

全医労 保木井委員長

我々も年金者組合の皆さんにまけない運動をしたい。国立病院は国の直営からはずされ、154病院が独立行政法人になる。非常勤6千人のうち、3千人の看護師は常勤となったが、千人はやめ、他は週30時間のパートならOKというが、年収300万円では暮らせない。

年金者組合埼玉 篠塚氏

いったい、自民と公明は正気なのか。国民がこれだけ反対しているのに、狂人どもが国会議席の多数を占めている。この「多数」という刃物をもった人間が国会にいることを、許してはならない。

全国のニュースやマスコミ記事を送付ください。